

第19回バイオマス活用総合講座

開催案内

日時：2020年10月20日(火)～22日(木)

場所：馬事畜産会館 2階会議室(東京都中央区新川)

または、リモート (Zoom 方式) 参加



一般社団法人日本有機資源協会

第19回バイオマス活用総合講座 開催要領

一般社団法人日本有機資源協会

1. 名称	バイオマス活用総合講座
2. 趣旨	<p>地球温暖化対策、生物多様性保全など、持続可能な循環型社会形成に向けた取組が進められる中で、「バイオマス・ニッポン総合戦略」に始まり、「バイオマス活用推進基本法」の施行、「バイオマス活用推進基本計画」の策定及び見直し等を受けて、再生産が可能なバイオマスを効果的かつ効率的に活用することが全国的な、また、アジアを含めた世界的な課題となっています。</p> <p>バイオマスの活用は、グリーン産業、静脈産業としても期待され関連技術の研究開発も盛んであり、特に持続可能な食料生産に資するコンポスト化や温室効果ガス排出量削減に資する電気や熱等へのエネルギー化などの分野では事業化が進んでいます。また、災害の発生を機に再生可能エネルギーの一つとしても注目されています。一方で、廃棄物系・未利用系を含めて、バイオマスは多種多様な資源であり、原料の収集や供給、変換技術、製品の流通と利用に至るまで多くの関係者が関わっており、持続的、安定的に製品やエネルギーを生産し利用するにはまだまだ多くの課題があります。</p> <p>一般社団法人日本有機資源協会は、「有機性資源の総合的な有効利用の促進を図り、持続可能な循環型社会の構築と環境保全に寄与する活動を推進する」ことを目的に設立され、バイオマス活用推進の加速化に向けて様々な事業を展開しています。</p> <p>今年度も人材育成事業として、バイオマス活用全般についての知識の習得を目的に「バイオマス活用総合講座」を開催いたします。</p> <p>本研修において所定の成績を収めた研修修了者は（一社）日本有機資源協会によって「JORAバイオマスアドバイザー（初級）」として認定され、（一社）日本有機資源協会が実施を予定している「バイオマス活用アドバイザー養成研修」「コンポスト生産管理者養成研修」「メタン発酵技術アドバイザー養成研修」等の受講資格を取得したことになります。また、（一社）産業環境管理協会が運用する「エネルギー・環境マネジャー キャリア段位制度」の「認定レベル3」に位置づけされます。</p>
3. 研修内容	<p>バイオマス活用全般について必要とする知識の習得を目的として実施します。</p> <p>※ 講義内容は：添付の「講義概要」参照</p>
4. 実施日程	<p>2020年10月20日（火）～22日（木）</p> <p>※添付の「日程（案）」参照</p>
5. 実施場所	<p>馬事畜産会館 二階会議室（東京都中央区新川2-6-16）または Zoom</p> <p>電話：03-3297-5618（協会事務局）</p>
6. 受講資格	<p>受講時満20歳以上となる者（20歳未満の就学生の場合は、要相談）</p>
7. 受講者定員	<p>30名程度とし、申込受け先着順で定員に達し次第締切ります。</p> <p>ただし、受講者が少数の場合は開催を中止する場合があります。</p>

8. 受講申込方法	<p>2020年10月15日(木)までに、添付の「バイオマス活用総合講座受講申込書」に所要事項を記入し、FAXまたは電子メールにて(一社)日本有機資源協会事務局まで送付して下さい。受付完了確認後、第9項記載の受講料請求書を送付いたしますので、到着後にお振込みをお願いします。</p> <p>※リモート(ZOOM)参加については、次の事項は禁止行為となりますことご確認ください。①申込受講者以外の同時聴講 ②ミーティング招待メールの転送等 ③録画及び録音(会場参加者も同様) ④資料の複製(会場参加者も同様)</p> <p>※ 催行の可否判断は、10月9日(金)時点の応募状況により決定致します。</p> <p>(一社)日本有機資源協会 事務局 FAX 03-3297-561 E-mail kensyu@jora.jp</p>
9. 受講料	<p>本研修の受講料は下記のとおりです。なお、費用は前納としますが、特別の理由により前納が困難のときは、(一社)日本有機資源協会が別途指示する方法により納入することができます。なお、受講料の対象となる費用は、聴講料、資料代、消費税込みであり、宿泊費及び食事代は含まれていません。(交流会費用は協会負担)</p> <p>① (一社)日本有機資源協会会員 参加者1名につき 60,000円 但し、日本有機資源協会学生会員は、40,000円 (受講に合わせてご入会頂くことも可能です。)</p> <p>② 一般(非会員) 参加者1人に付き 75,000円 但し、(一社)日本有機資源協会が定める学生資格者は、1人 50,000円</p>
10. 受講料納入方法	<p>受講料は下記口座にお振込みください。(振り込み手数料は、受講者負担)</p> <p>銀行名：三井住友銀行 神田支店 銀行コード 0009 支店コード 219 種 別：普通預金 口座番号：2036073 口座名義：一般社団法人日本有機資源協会 イッパンシャダンホウジンニホンユウキシゲンキョウカイ</p>
11. 受講者に対する本講座の効果	<p>①本研修(3日間)修了者は、地域・職域におけるバイオマスの活用について、必要な基本的知識を習得したことになり、(一社)日本有機資源協会によって「JORAバイオマスアドバイザー(初級)」として認定されます。</p> <p>②本研修における研修修了考査において所定の成績を収めた研修修了者は、バイオマス活用、コンポスト生産管理、メタン発酵技術等について基本的知識を習得したことを認め、(一社)日本有機資源協会が実施を予定している「バイオマス活用アドバイザー養成研修」「コンポスト生産管理者養成研修」「メタン発酵技術アドバイザー養成研修」等の受講資格を取得したことになります。</p> <p>③ (一社)産業環境管理協会が運用する「エネルギー・環境マネジャー キャリア段位制度」の「認定レベル3」に位置づけされます。</p>
12. 本件連絡先	<p>一般社団法人日本有機資源協会 事務局(鈴木、土肥、十川) 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16馬事畜産会館401号室 TEL: 03-3297-5618 FAX: 03-3297-5619 E-mail kensyu@jora.jp</p>

第19 バイオマス活用総合講座 日程

開催日：2020年10月20日（火）～22日（木）

開催場所：馬事畜産会館2階会議室（東京都中央区新川2丁目）またはリモート（Zoom形式）参加

開催日	時間	講習内容	講師
一日目	12:50～	受付	
	13:10～13:25	オリエンテーション	事務局
	13:25～13:30	開講にあたっての挨拶	一般社団法人日本有機資源協会
	13:30～14:50	バイオマス概論	
	14:50～15:00	（休憩）	
	15:00～16:10	バイオマスをめぐる情勢	（予定）農林水産省
	16:10～16:20	（休憩）	
	16:20～17:40	バイオマスエネルギー概論	
	18:00～19:30	交流会（ネットワーキング）	
二日目	9:10～10:30	コンポスト化	
	10:30～10:40	（休憩）	
	10:40～12:00	メタン発酵	
	12:00～13:00	（昼食）	
	13:00～14:20	バイオマスプラスチック	
	14:20～14:30	（休憩）	
	14:30～15:50	木質バイオマス（概論）	
	15:50～16:00	（休憩）	
	16:00～17:20	木質バイオマス（エネルギー編）	
三日目	9:10～10:30	飼料化（エコフィード）	
	10:30～10:40	（休憩）	
	10:40～12:00	炭化	
	12:00～13:00	（昼食）	
	13:00～14:20	バイオ液体燃料	
	14:20～14:30	（休憩）	
	14:30～15:50	地域バイオマス活用システム	
	15:50～16:10	研修修了考査	
	16:10～16:25	研修修了考査出題解説と意見交換	
	16:25～16:30	閉講にあたって	

* 講義順及び講義時間は、実施時点で変更になる場合があります。

第19回バイオマス活用総合講座 講義概要

番号	講義名(仮題)	概要
1	バイオマス概論	バイオマスを活用する意義, さまざまな変換技術, 計画策定から運営に至るプロセス, 最近の話題, 等
2	バイオマスをめぐる情勢	「バイオマス活用推進基本法」等のバイオマス活用に関する国の施策や補助制度, バイオマス産業都市やバイオ燃料, バイオマス廃棄物の利用など国内外に向けたバイオマス活用の取組の最新情報, 等
3	バイオマスエネルギー概論	エネルギー利用を中心としたバイオマス活用概論
4	飼料化(エコフィード)	エコフィードシステムとは, エコフィードの必要性と可能性, エコフィード飼料化事業の種類と事例, エコフィードシステム構築の手順, エコフィード給与試験例, 等
5	コンポスト化	コンポスト化とは, コンポスト化の原材料, コンポスト化の方式, コンポスト化の条件, コンポスト化における留意点, コンポスト製品の品質と施用における留意点, コンポスト利用の推進, 等
6	メタン発酵	メタン発酵の原理および操作因子, 日本におけるメタン発酵事例, 海外におけるメタン発酵事例, 液肥およびコンポストの生産, メタン発酵を基幹施設としたバイオマス活用推進の構築, 等
7	木質バイオマス利用	持続可能な社会と森林バイオマス, 木質バイオマスの利用方法, 木質バイオマスの利用事例, バイオマス導入の工夫, 新ビジネスモデル, 等<(概論)と(エネルギー編)>
8	炭化	炭化とは, 炭化炉の種類, 炭化の現状, 炭化物の機能(既往の活動成果), 炭化の問題点, 炭化技術の展望, 炭化に関する国際的な動向, 炭化と地球温暖化防止(炭素貯留), 等
9	バイオ液体燃料	バイオ液体燃料とは, バイオ燃料製造の現状と将来展望, バイオディーゼル燃料, 等
10	バイオマスプラスチック	バイオマスプラスチックとは, バイオマスプラスチックに関する検討経過, 生分解性プラスチックとバイオマスプラスチック, バイオマスマーク(認証システム), 技術動向, 課題と展望, 等
11	地域バイオマス活用システム	地域バイオマス活用システムの考え方, バイオマス資源化利用の現状と課題, 地域バイオマス活用システムのケーススタディー, バイオマス推進計画の策定方法と留意点, 等
12	研修修了考査	各講義内容の習熟度を確認するための考査(30問程度)
13	研修修了考査出題解説と意見交換	研修修了考査の解答および解説とバイオマス活用に関するフリーディスカッション

※ 番号は講義順とは異なります。

また、概要は開催案内作成時点のものであり、更新される場合があります。